

岩手県保健医療計画（2024-2029）地域編の取組等について

1 趣旨

岩手県保健医療計画（2024～2029）第7章「計画の推進と評価」に基づき、各圏域における重点的取組事項等について、毎年度保健医療圏ごとに関係機関・団体の取組状況を取りまとめ、各圏域地域連携会議等で情報を共有し、評価・検証を行っていくものです。

2 胆江圏域における重点的な取組事項

- (1) 非感染性疾患、加齢に伴う疾患対策について
- (2) 少子高齢化社会への保健・医療・介護提供体制づくり（保健・医療・介護連携）について
- (3) 感染症対策と災害時等の健康危機管理対策について

3 取組状況の照会先

- (1) 医療関係 13 団体（3 師会、病院、県看護協会奥州地区支部）
- (2) 福祉・介護関係 3 団体（市町社協、介護支援専門員連絡協議会）
- (3) 市町関係 3 機関（市町、保健所）

4 取組の評価

(1) 事業数の推移

胆江圏域における重点的な取組事項	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	増減
(1) 非感染症疾患、加齢に伴う疾患対策	156	162	6
(2) 少子高齢化社会への保健・医療・介護提供体制づくり（保健・医療・介護連携）	211	215	4
(3) 感染症対策と災害時等の健康危機管理対策	95	93	▲ 2
合計	462	470	8

(2) 評価方法

各機関・団体から回答いただいた「取組み事業数」を基準として、「課題への対応のために想定される取組」（取組分野）に分類して評価しました。

5 取組状況と評価

(1) 非感染性疾患、加齢に伴う疾患対策について

① 取組分野と取組状況（事業数）

大項目 (重点的取組)	小項目 (取組分野)	No	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	増減
(1) 非感染症疾患、加齢に伴う疾患対策					
	市町の地域支援事業への取組支援を通じ、高齢者の健康寿命の伸長を図る	1	39	40	1
	循環器病対策	2～5	49	51	2
	糖尿病対策	6～8	24	26	2
	がん対策	9	24	23	▲ 1
	食からのフレイル対策	10	20	22	2
	小計		156	162	6

※各団体の取組状況は、資料5－2のとおり

② 総合評価（取組事業の概要）

ア 「市町の地域支援事業への取組支援を通じ、高齢者の健康寿命の伸長」について

- 各医療機関や行政機関等において、各種会議を開催し、関係機関との連携強化を図っています。
- 薬剤師会において、令和7年度に、医薬品情報・在庫情報等の共有、他職種等からの相談窓口を設置したほか、令和8年度は、新たに、医薬品の情報共有ネットワークの構築を予定しています。

イ 「循環器病対策、糖尿病対策及びがん対策」について

- 各医療機関における診療体制の整備のほか、各関係機関において、市民・企業向けの出前講座・各種イベントなどを行うとともに、市町が実施する特定健診、各種がん検診への協力を行うなど、圏域内で一体となって取り組んでいます。
- 令和7年度は、新たに、金ヶ崎診療所において、地域医療講座を実施したほか、奥州市において、高校生への食育事業を実施しています。令和8年度は、金ヶ崎町において、対象者の年齢等を変更し、歩く健幸まちづくり事業を行うほか、新たに、石川病院において、腎臓内科医による慢性腎臓病の予防と治療、美希病院において、糖尿病内科常勤医による医療体制及び地域連携懇話会での糖尿病対策研修を予定しています。

ウ 「食からのフレイル対策」について

- 各関係機関において、フレイル予防について、患者や一般市民、高齢者施設や介護事業所等を対象に、情報提供、指導、出前講座、各種イベント等を行っています。
- 令和8年度は、新たに、看護協会において、看取りに関する高齢者施設向け研修会の開催を予定しています。

(2) 少子高齢化社会への保健・医療・介護提供体制づくり（保健・医療・介護連携）について

① 取組分野と取組状況（事業数）

大項目 (重点的取組)	小項目 (取組分野)	No	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	増減
(2) 少子高齢化社会への保健・医療・介護提供体制づくり（保健・医療・介護連携）					0
	周産期・小児医療、母子保健	11～15	62	64	2
	医療と介護の連携、在宅医療の推進	16～22	120	120	0
	認知症対策（理解の促進と医療や介護の支援の充実）	23～26	29	31	2
	小計		211	215	4

※各団体の取組状況は、資料5－2のとおり

② 総合評価（取組事業の概要）

ア 「周産期・小児医療・母子保健」について

- 周産期・母子保健については、市町を中心とした妊産婦への各種給付事業、交通費・宿泊費助成、産後ケア事業、妊産婦メンタルヘルス事業やその他の妊産婦に係る幅広く総合的な支援を実施しています。
- 小児医療については、令和8年4月以降の県立病院の小児科の体制変更に伴い、保健所において連絡会議を開催し、関係機関と課題や対応を共有するなど、小児救急体制の連携を図っています。

イ 「医療と介護の連携、在宅医療の推進」について

- 各医療機関において、訪問診療による在宅医療や、レスパイト入院の実施、退院先への情報提供や多職種連携による退院支援のほか、市町において住民主体のつどいの場の支援やACPの普及啓発等に取り組んでいます。令和8年度は、新たに金ケ崎町において、在宅で介護をしている家族を対象とした、介護に関する知識・技能に関する家族介護教室を実施する予定です。
- 医療従事者の人材確保の取組については、医療機関や行政機関において、岩手医科大学のほか、各種大学や専門学校等の実習生の受入、中高生の職場体験を行うなど、積極的に医療従事者の人材確保・育成に取り組んでいます。令和8年度は、新たに、奥州保健所において、医療機関の協力のもと、中高生を対象とした医療従事者によるセミナーや出前講座を実施する予定です。

ウ 「認知症対策（理解促進と医療や介護の支援の充実）」について

- 医療機関等において、研修会やセミナーを開催しているほか、多職種連携チームによる認知症ケア等に取り組んでいます。
- 市町において、認知症サポーター養成講座の実施、認知症ケアパスの配布・活用、認知症初期集中支援推進事業の実施、徘徊SOSネットワーク事業の実施、各種連絡会による情報共有等、多岐にわたり取り組んでいます。令和8年度は、新たに、奥州市において、認知症を題材とした映画の市民上映会を予定しています。

(3) 感染症対策と災害時等の健康危機管理対策について

① 取組分野と取組状況（事業数）

大項目 (重点的取組)	小項目 (取組分野)	No	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	増減
(3) 感染症対策と災害時等の健康危機管理対策					
	感染症対策	27～29	48	47	▲ 1
	高齢者施設等における感染症や災害発生時の 業務継続計画の策定状況の確認	30～31	8	9	1
	災害医療	32～36	39	37	▲ 2
	小計		95	93	▲ 2

※各団体の取組状況は、資料5－2のとおり

② 総合評価（取組事業の概要）

ア 「感染症対策」について

- 胆沢病院主催の奥州感染管理ネットワーク（O I C O N II）において、合同カンファレンスや訓練を実施し、各医療機関等と連携を図っているほか、保健所において、関係機関との定期的な感染症 ZOOM ミーティングの開催や感染症サーベイランスの情報還元により、感染症に関する情報を共有しています。
- 医療機関において、院内感染対策研修やP P E着脱訓練等を実施しているほか、嘱託施設等との感染症の情報共有、感染対策の研修や実地指導などを行っています。

イ 「高齢者施設等における感染症や災害発生時の業務継続計画の策定状況の確認」について

- 胆江地区介護支援専門員連絡協議会において、専門的知識及び技術向上を目的として研修を実施しており、令和8年度は、大規模災害対応やB C P理解促進等の研修を予定しています。
- 保健所において、高齢者施設や教育保育施設を対象とした感染症予防研修会や出前講座などを行っています。また、県南広域振興局保健福祉環境部において、介護保険集団指導会の際に業務継続計画策定や訓練実施に関する注意喚起を行っているほか、個々の施設への運営指導等の機会に業務継続計画の整備状況を確認しています。

ウ 「災害医療」について

- 保健所において、各関係機関と胆江地域災害医療訓練を実施し、緊急時の連絡体制の確認や各現場での初動対応、E M I S入力、負傷者の救出活動や病院への搬送調整を行う等、災害時の連携強化に向けて取り組んでいます。
- 薬剤師会において、令和7年度に、奥州市と災害時の医療救護活動に関する協定を締結し、令和8年度は、金ケ崎町と締結を予定しているほか、新たに、災害薬事コーディネーターの選出を予定しています。また、歯科医師会において、新たに、奥州市及び金ケ崎町と災害時の医療救護活動に関する協定を締結しています。